長野県クビアカツヤカミキリ地域防除戦略の策定について

報告資料２

令和８年（2026年）11月20日
環境部　自然保護課　生物多様性係　加藤、黒坂
電　話：026-235-7180（直通）
026-232-0111（代表）内線2777
ＦＡＸ：026-235-7498
E-mail:shizenhogo@pref.nagano.lg.jp

1　策定の背景

〔令和8年9月〕

国は対策本部会議でクビアカツヤカミキリ防除戦略を決定

・2030年度を目途に被害地域の縮小への道筋をつけ、国内根絶を目指す
・都道府県に対し、実情に応じた「**地域防除戦略**」の策定を推奨

○　長野県でも地域防除戦略を策定し、地域で連携して効果的な防除を推進するための方針を示す

- 防除対策の目標、取組の方向性
- 県、市町村、関係機関、県民、事業者等の各主体の役割
- 各主体が実施する防除活動に必要な支援

○　長野県は発生初期段階
早期発見・早期防除により、被害拡大を防ぎ、県内根絶を目指すことができる段階

➡地域防除戦略に基づく防除を令和8年度から実施



2　県戦略の概要

(1)戦略の目標

○　2026年度内に防除体制を確立
○　2028年度までに県内被害を根絶

(2)実施主体

防除は、被害木・土地・施設を所有又は管理する者が実施することを基本とする

〈各主体の役割〉

実施主体	役　割
県	全県的な監視・防除体制の構築、防除の推進・指導、普及啓発、国等との広域調整、市町村等支援
市町村	地域での防除・監視体制の構築、防除の推進・指導、普及啓発、 発見情報の収集・共有
県民・事業者	監視、通報、防除への協力

(3)市町村等に対する支援

市町村、事業者及び樹木所有者が実施する監視、防除等に係る必要な**技術的支援及び財政的支援**

（4）防除の取組の方針

ゾーニング　被害状況に応じた地域別（市町村単位）の対策

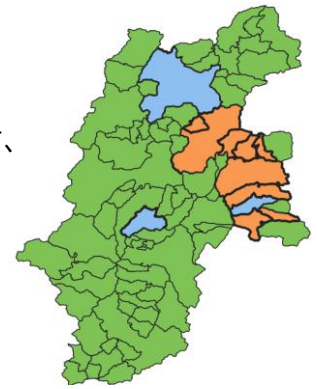


※生成AIで作成

【被害状況に応じた地域別の対策（ゾーニング）模式図】

※参考（県内の被害状況）

- 被害木確認　※被害最前線地域
  （佐久市、御代田町、佐久穂町、東御市、南相木村、小諸市、南牧村、上田市、坂城町）
- 成虫のみ確認　※成虫発見地域
  （小海町、辰野町、長野市）
- 未被害地域
  （上記以外の市町村）



未被害地域　被害が発生していない区域

徹底予防　・巡視の徹底、予防的措置を実施

成虫発見地域　被害木は確認されていないが成虫が発見された区域　県独自の設定

徹底防除　・定着しているものとして防除を実施
・巡視、薬剤等による防除

飛び地的被害地域　既被害地域に隣接せず、新たに被害が確認された区域

短期地域根絶
- 被害木等の伐倒・伐根を基本
- 巡視、薬剤や幼虫駆除、防除ネット等の組み合わせ対策

※現在、県内に対象地域なし

被害最前線地域　既被害地域一円の最も外縁に位置する区域

短期根絶　・被害木等の伐倒・伐根、巡視、巡視、薬剤や幼虫駆除、防除ネット等の組み合わせ対策

まん延地域　飛び地的被害地域及び被害最前線地域を除く既被害地域で、侵入確認後3年経過し既に定着した区域

生息密度低減　・被害木等の伐倒・伐根、巡視、巡視、薬剤や幼虫駆除、防除ネット等の組み合わせ対策

※現在、県内に対象地域なし

※ 被害地域 ： クビアカツヤカミキリによるフラスの発生が確認された樹木が存在する市町村の区域